

ベッド周囲の環境改善への取り組み

見崎 千鶴 宮地 咲衣 木村 彩乃
小林 佳純 宮崎 薫

【はじめに】

安全で快適な入院生活を確保するために病床環境を整えることは看護の基本である。しかし、病棟スタッフへのアンケート及び現状調査を行った結果、作成日時不明のとりみ水や床頭台に置いたままの楽のみ、コップがあり、ベッド周囲の整理・整頓が課題に挙がった。既存の「室内環境調整の手順」はあるが、実施するタイミングなど病棟内の細かな約束事が無いことに着目し、統一したベッド周囲の整頓ができることを目標に改善活動を行ったので報告する。

【方 法】

問題解決型QCストーリーに沿って活動を展開した。

【結果・考察】

ベッド周囲の現状把握を行い、スタッフが感じている「ベッド周囲の整理・整頓ができない」原因を特性要因図を作成し要因を洗い出した（図1）。その結果、病棟内の細かな約束事がないことなど3つの要因があがり、取り扱い方法の統一・環境整備のルール化・スタッフ間の情報共有の3つの要因に対して対策を立案し、具体的なルールを決め病棟会やポスター掲示などでスタッフに周知した（図2）。マニュアル作成にあたっては、その根拠や必要性についてスタッフに説明し、意識づけを行った（図3, 4, 5, 6）。

その結果、休日の楽のみ・コップの交換は75%、歯ブラシの正しい設置は93%、スポンジブラシの使い捨ては81%がマニュアルに沿って実施できていた。また、汚れたままの尿器はなくなり、床頭台などベッド周囲が整っていることが多くなった。

平日は、ベッドサイドの環境整備をNAの業務としており、看護師の意識が低くなっていたと考える。現状を可視化し、何故こうなるのかを考えることで、休日にも実施できる対策に繋がった。マニュアル作成の過程でもスタッフと意見交換することで、意識づけができたと考える。今後も継続した声掛けを行い、管理の定着を図る必要がある（図7）。

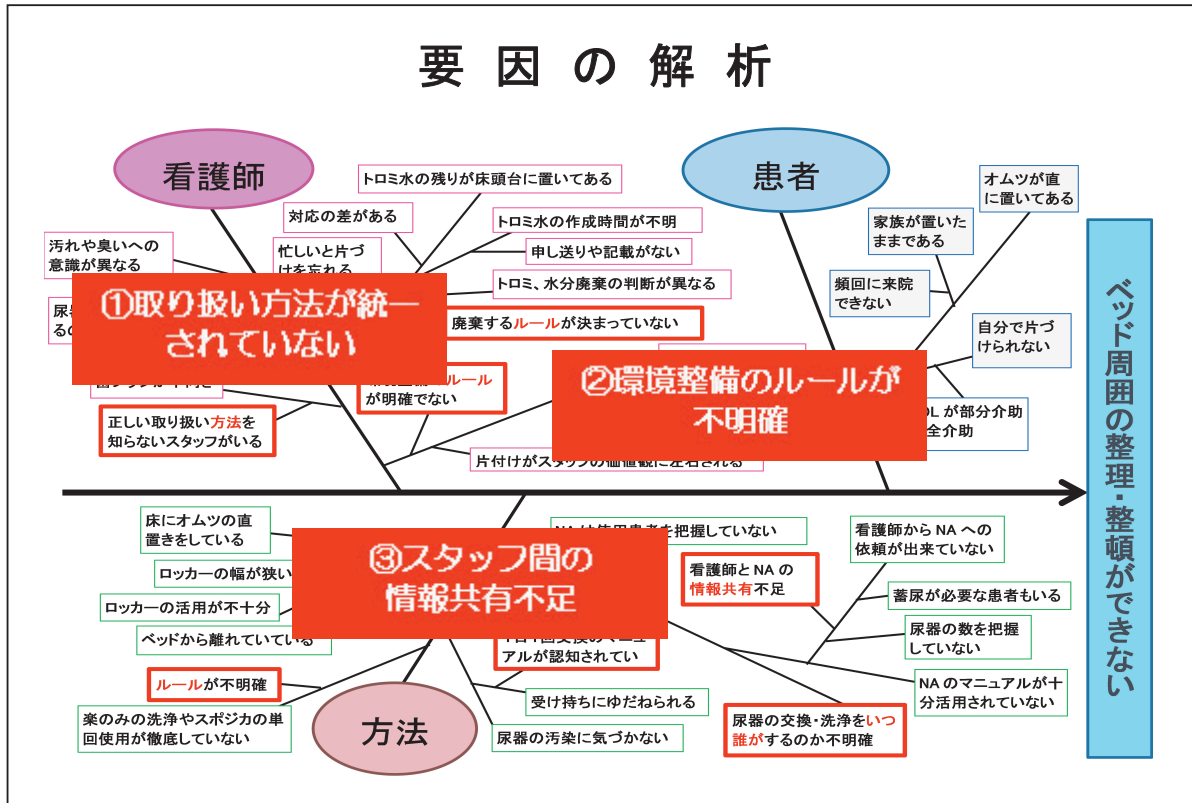



図 1

日本赤十字社 岐阜赤十字病院
Nippon Red Cross Society Gifu Red Cross Hospital

ベッド周囲の整理・整頓をするには

	◎5点、○3点、△1点、×0点	効果	実現性	持続性	合計
取り扱い方法を統一する	取り扱い方法の周知	◎	◎	○	13
	定位置を決める	◎	○	◎	13
環境整備のルールを決める	洗面所に病床番号を明示	◎	◎	◎	15
	洗面用具の定位置を洗面所にする	◎	◎	◎	15
	吸引用紙コップ交換のルール化	◎	◎	◎	15
	薬のみ、コップ洗浄のルール化	◎	◎	◎	15
スタッフ間の情報共有ができる	環境整備を徹底する	◎	○	◎	13
	見える化	◎	◎	○	13
	尿器使用者一覧の活用	◎	◎	◎	15
	NAとの伝達方法を定める	◎	◎	◎	15

図 2



 日本赤十字社 岐阜赤十字病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

口腔ケア物品などの取り扱い方法の統一

- 歯ブラシはブラシの部分を上にする。(乾燥させるため)
- 患者の洗面用具は洗面所におく。
- 洗面用具や持ち物に記名する。
- 洗面所の棚に病床番号を示した。


**歯ブラシの向きは
上向きで**



周知


病棟内でのポスター掲示

定位置



ADLに合わせて位置の変更可能

図3



 日本赤十字社 岐阜赤十字病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

環境整備のルール化 ①

- 吸引に使用している紙コップは1日1回平日は**NA**が交換（休日は看護師で交換）
- 楽のみやコップなどは**NA**がラウンド時に1日1回洗浄・交換。その時に中身も全て破棄する。（休日は看護師が実施）

ルール化







図4


 日本赤十字社 岐阜赤十字病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.


環境整備のルール化 ②

- 検温時・朝の処置・清潔ケア時にベッド周囲の整頓を行う。

1日1回


整理・整頓

病棟内での
ポスター掲示



徹底に向けて
の呼び掛け

図5


 日本赤十字社 岐阜赤十字病院
Japanese Red Cross Society


人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

尿器洗浄に関する情報共有

- 尿器はNAが1日1回洗浄。
- ※休日は受け持ち看護師が朝回収して交換。

見える化

尿器の使用欄に○をつき、看護師とNAとの情報共有をした



伝達方法の
明確化

図6

標準化の管理と定着

《楽のみ、コップ》

- ・Na がラウンドで 1日 1回洗浄 Or 交換。
(※ その時に中身は一旦全て破棄します)
- ・1~3号は 11時頃までに。その他の部屋は 15時頃ラウンド予定。
- ・土日は、受け持ち看護師が行う。

《吸引に使用している紙コップ》

- ・平日は Na が 1日 1回交換。交換した日付を記入。
- ・土日は受け持ち看護師が行う。

《歯ブラシ、スポンジブラシ》

- ・歯ブラシはブラシ部分を上にして片づける。
- ・スポンジは 1回使用したら破棄して都度交換。
- ・患者さんの洗面用具は洗面所の ABCD と書かれた棚に入れる。場所は部屋の ABCD に合わせて使用して下さい。
- ※ ABCD の用紙は患者さんの ADL に合わせて場所を変更して下さい。
- ・また、入院患者さんにも洗面所の棚の使用方法について入院時に説明をお願いします。

ブラシが上



《尿器》

- ・Na が 1日 1回洗浄。
- ・Na は Na が分かりやすいように夜勤で使用しているフリー板に尿器使用の有無を記入する。
- ・土日は受け持ち看護師が朝回収し



尿器使用の人は
0を

《部屋》 部屋モデル



衣類の位置

オムツの位置

床頭台の上

図 7

